

第6回

多可町生涯学習まちづくり委員会

会議録

《概要版》

事務局 多可町生涯学習課

第6回多可町生涯学習まちづくり委員会 会議録

- 日時 令和5年3月23日(木) 午後7時30分～午後9時30分
- 場所 アスパル健康福祉センター 研修室
- 出席者
- ・委員 9名/12名(敬称略)
近藤 文好 遠藤 ひとみ 藤賀 幸子 杉本 真
蔦木 伸一郎 山本 和樹 小林 一光 山本 早希
石塚 郁
 - ・欠席委員 立岩 一真 後藤 さおり 小寺 祥之
 - ・事務局 生涯学習課 課長 藤原 徹
副課長 梅田 一志
課長補佐 橋本 行広
教育総務課 図書館司書 依藤 啓子
理事兼建設課長 藤原 照明
建設課 翁田 拓樹、西村 光法
- 議事
- (1)住民WS「まちプラいいね！ドラフト会議 報告・振り返り
 - (2)まちプラ平面計画について
(委員WS・住民WSの意見を受けて)
説明：建設プロジェクト室
 - (3)今後の検討内容・スケジュールについて
 - ・検討する内容
 - ・検討スケジュール
 - ・検討の方法説明：蔦木副座長
- 会議結果
- (1)次第3. まちプラ平面計画について
建設課から平面計画について説明
質疑応答
この内容で基本計画を固めることに異議がないことを確認。
※実施設計で大きな変更点があれば委員会に報告してほしい。
 - (2)次第4. 今後の検討内容・スケジュールについて
 - ・委員会の目的・役割の再確認
 - ①生涯学習活動の活発化の検討
 - ②生涯学習まちづくりを担う人材育成の検討
 - ③まちづくりプラザの運営の検討まずは、基本理念をまとめる。
手法として「ミッション・ビジョン・バリュー」を検討。
 - ・スケジュール
 - ①については随時

②についてはR 5年8月頃までに

③についてはR 5年8月頃までに

R 6年3月までに具体的な実施計画・運営計画の提言

・チーム分け

スケジュールがタイトなこともあり、次の2つのチームに分けて検討してはどうか？

①生涯学習事業、人材育成・運営検討チーム

②広報・イベント企画チーム

→全員で課題を共有しながら進めたいため、チーム分けはしない。

※どこかの段階ではチームに分けることはある。

(3) その他

委員会までに自分の考えをまとめておきたいため、
会議資料をできるだけ早くほしい。

■会議の経過

次第 1 (座長)	開会 座長あいさつ
次第 2 (事務局) (座長) (事務局)	住民WS「まちプラいいね！ドラフト会議」(R5.1.15)報告・振り返り ありがとうございました。それでは早速ですが、本日の議題に移ります。 座長、進行をお願いいたします。 先ほども言いましたが、去る1月15日にワークショップ「まちプラいいね！ドラフト会議」を中プラザで開催をいたしました。ご参加頂きました委員の方、お疲れ様でした。またご都合により出席いただけなかった委員の方は、広報やたかTVでご覧頂いたことと思います。報告や振り返りがまだ出来ていませんので、事務局の方から資料をもってご説明をさせていただきます。よろしくをお願いいたします。 それでは資料に基づきまして、ワークショップの報告・振り返りをさせていただきますと思います。左肩、資料1-1が報告の方です。資料1-2というのが出てきました意見の集約です。こちらの資料をもとに簡単に振り返りを説明させていただきますと思います。 座長の方から話がありましたように、1月15日中コミュニティプラザにて住民ワークショップの方を開催させていただきました。当初、募集40名程度ということで募集をかけさせていただいたんですけど、ご自分で応募いただいた方、委員さんからお声を掛けていただいた方、最終的に50名の方お集まりをいただきまして、そういう意味では盛大に開催することが出来ました。開催の様子につきましては、お手元の写真の資料ですとか、あるいはたかTV等でもご覧いただいたんではないかと思うんですが、にぎやかな雰囲気の中ワークショップを進めさせていただきました。 お手元資料1-1の2枚目、こちらはワークショップの後、フリーのアンケートで感想を書いていただいたものを集約したものです。だいたい大きく一つ目ワークショップ自体に関する意見・感想。それから運営検討に関する意見・要望。3番目施設整備に関する意見・要望ということで、だいたい仕分けしてまとめさせていただいています。 一つ目、ワークショップに対するご意見ですが、またゆっくりご覧いただけたらと思うんですが、総じて良い感想といますか、いただいております。考えてみますと、多可町でこういった住民参加型のワークショップをしたのはおそらく初めてではないかと思います。大勢の方の「こんなの初めてです」とか「とても良い経験になりました」とか「こんな機会またほしいです」とかいろんなご意見いただいておりますので、これを弾みにまたPRも兼ねてワークショップ等々計画していきたいなと思っております。それと運営検討に関する意見・要望ということで、このあたりはまた後々この委員会の議題にあがってこようかと思っておりますけれども、総じて「使いやすい、気軽に立ち寄れるそういう施設にしてほしいです」とそういうようなご意見が多かったと思います。3番目施設整備に関するご意見ということで、ど

	<p>ちらかというハードの面が関係しているところですが、主な意見としましては、例えば「シェアキッチンを広くしてほしい」とか「学習スペース使いやすいうように」とか「ロビーが広い方がいい」とかそういうようなご意見がございました。このあたりにつきましては、後ほど建設プロジェクト室の方からその後の取組についてもご説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>それから資料1-2になります。こちらはワークショップの中で今日後ろに図面を置かせていただいているんですけども、また参加いただけなかった方お帰りのさいご覧いただけたらと思っております。当日、図面の上いろんなご意見ですとか要望を付箋に書き出して貼ってもらった、その意見を出来るだけ拾い上げたものです。ちなみに会場を見ていただけたらホワイトボードの方に貼ってますのが、住民ワークショップ当日にお示した図面です。それを元にワークショップさせていただいたのが、後ろの机の上に置いていますが実際にワークしていただいた図面です。それから前の方に貼らせていただいておりますのが、その時のグラフィックレコーディングということで、ワークショップの結果といたしますか、こういうご意見が出たというのをまとめさせていただいております。その元になりました、付箋とかに書き出していただいた意見、出来る限り拾い上げてましてちょっと小さい字でいっぱい書いてあって見にくいかなと思うんですけども、こういうようなご意見がありました。これもある程度種類に分けてまとめてさせていただいております。施設整備に関する事、あるいは施設整備と運営とイベント・企画にまたがる事、それから運営とか備品の事にまたがる事、ある程度分けてまとめたつもりなんですけれども、こういう中でハード面に対応できるものは出来るだけ対応していくということで取り組んでまいりましたのと、こちらの委員会での議題としましては、やっぱり施設運営ですとか、イベント・企画ですとかこういう部分が後々議題になってくるかと思っておりますので、一度お目通しさせていただきたいと思っております。以上、簡単ですが報告、振り返りとさせていただきます、お時間のある時にもう一度ご覧いただけたらと思っております。</p>
<p>(座長)</p>	<p>ありがとうございます。住民ワークショップ、最初は人が中々集まらなくて心配をしておりましたが、定員を上回る50名の方が来ていただいて、非常にワークショップ自体が盛り上がり、若い方から年配の方までいろんな意見を言われて、特に中学生とか高校生が目をは輝かせて話をしていたのを記憶しています。あの会場自体が生涯学習まちづくりプラザのようなイメージかなと思ながら感想を述べさせていただいたところです。</p>
<p>次第3</p>	<p>まちプラ平面計画について</p>
<p>(座長)</p>	<p>先ほどいろいろありましたが、ワークショップの中で設備の面とか運営検討の面とかイベントの企画の面いろいろと意見をいただきました。そういった中で設備とか施設に反映できる点は出来るだけ反映をしたいということで、建設プロジェクト室を中心に平面計画を再考をさせていただきました。事前の資料でも配布されていますが、詳細について担当の方から説明をよろしくお願ひしたいと思っております。</p>
<p>(建設プロジェクト室)</p>	<p>先日のワークショップ、皆さん貴重なご意見ありがとうございました。先ほど座長の方からも説明がありましており、当日1月15日のご意見をいた</p>

だいた中で、施設整備に反映できる点は反映していこうということで、今回平面計画を再考させていただいております。その意見を参考にさせていただきながら、今回大きく変更した点は4点ございます。

まず1点目としましては、まちプラ全般の意見としまして図書館の南側、図面という下側のエントランスホールとか交流スペースとかのオープンスペースをもっと広くしてほしいというようなご要望がございました。それにつきまして、前回の図面では学習スペースが個室になっていたんですけれども、個室の壁を取り払って学習スペースをオープン化しております。それとエレベーターの位置を前回南側の玄関の風除室の横にあったものを図書館の入口の横に移動させることによって、オープンスペースをずいぶん広く取ったような形にさせてもらっています。これによってオープンスペースがかなり有効に活用出来るようになったのではないかなと思っております。

次に2点目です。これについては図書館についての意見です。要望として、図書館の書架の位置が直線的であったり、それに合わせて動線も直線的になる様、また隠れ家的なスペースが欲しいなというようなことを要望いただいております。それについてまず書架とか動線が直線的であるという要望について、そのレイアウトを見直しながらカウンターとか例えばブラウジングスペース、それから児童書コーナーに曲線的な書架を配置しまして、遊び心のある配置としております。また隠れ家的なスペースにつきましては、例えば児童書コーナーとかにトンネル型の家具を配置して、これについても遊び心のあるレイアウトということで変更させていただいております。

続きまして3点目。図面に向かって左側。こもれび通りの左側です。大会議室等のシェアキッチンについてです。要望として前回の図面では、シェアキッチンが大会議室の南の交流スペースの一部のような形になっておりまして、利用者の通過動線の中にキッチンがあるような配置となっております。このことによってシェアキッチンとか交流スペースが狭く使い勝手が悪そう。またシェアキッチンも狭そうであったので、5～6人ほど入れる程度にシェアキッチンと広げてほしいというような要望をいただいております。これについても、その意見を参考にさせていただきながら、シェアキッチンを大会議室等の南西、左下です。に配置する事によりシェアキッチンを広く確保するようにしています。またそのシェアキッチンの位置を変更したことによって、交流スペースも広く確保が出来ております。その中で利用者の通過動線も確保することができ、また交流スペースが広くとれまして使い勝手が良くなっているというような状況です。

最後に4点目。2階のレイアウトについてです。2階のレイアウトも前回の図面では音楽室であったりアクティブルームであったりが北側の端に配置してございました。それで例えば音楽室に大きな楽器などを搬入するときにエレベーター自身が南側にあるので、そこから音楽室まで遠い。搬入が大変という意見をいただいております。これもその意見を参考にさせていただきながら、音楽室とかアクティブルームとそれから会議室の位置を変更して、極力音楽室とかアクティブルームがエレベーターの近くになるように変更しております。これによって楽器とかの搬出とか搬入が少しでも容易になるようにしております。

4点ほどでございますが、以上がワークショップでいただきました意見を参考にしながら平面計画を再考して、レイアウトを大幅に変更した箇所でございます。ありがとうございました。

(座長)	<p>ありがとうございました。中々説明だけではわかりにくい点ですとか、パッと見られた中でもうちょっとこれはどうなんかなというように聞いておきたい点があると思います。2グループ分かれてますので、まずその中で10分程度時間をとりますので、大きな平面図机の上に置いてありますので、そちらを見ながらグループごとに疑問点とか質問点の意見をまとめていただきまして、その後に質疑応答の時間をとりたいと思います。進行の方ですが、向かって左手の方はB委員の方でよろしいでしょうか。向かって右手の方、〇〇委員進行の方よろしく願いいたします。それでは各班で図面を見ながら意見交換をしていただけたらと思います。</p>
	<p>－意見交換－</p>
(座長)	<p>各班の意見や質問を聞きながら新たに質問も出てくるかと思しますので、それも合わせて追加で聞いてもらえたらと思います。それでは〇〇委員の班から何点か質問がありましたらお願いします。</p>
(〇〇委員)	<p>あまり時間がなかったんであれなんですけど、この中では話せてないんですけど個人的に気になっていたのは、1階のキッズスペース小学生対象というのはこのスペースの利用イメージとか、その小学生を対象とした何か意図的な所があればちょっと教えてほしいなど。前もあったかなと。改めてこれを残したということは何かこう意見を受けて反映されたのかということをお聞きしたい。</p>
(生涯学習課長)	<p>キッズスペースは放課後の小学生さんの居場所ということで、居場所として小学生対象のものというふうに考えておまして、出前の児童館講座とかその様な場所にも考えていますし、お父さんお母さんが来られて「子どもはそこでちょっと遊んどいてな」みたいなイメージで他のことを大人の方がされるとかその様なイメージもありますし、例えばイベントがあった時に託児所スペースとか、そんな感じでフレキシブルに使うという想定です。</p>
(座長)	<p>ほかにありましたら。</p>
(〇〇委員)	<p>ほかは今はないです。</p>
(座長)	<p>それではB委員の班の方から何かありましたら。</p>
(B委員)	<p>全部答えていただいたので。</p>
(座長)	<p>私の方から1点だけ。当初のイメージでは非常にガラスばかりで周辺が見渡せる、外に木々が並んできるとかというイメージが非常に住民ワークショップの時のイメージで残っています。何かいいな。風が通るようなイメージでいいなと思ったんですけど。これもう一度図面を見て確認したいんですけど、青の線以外の所はガラス面じゃなしに壁と考えたらいいんですか。</p>
(建設課長)	<p>南面は全面下から1階はズトーンとガラスです。ここまでガラス。ガラスでずっ</p>

ときてここまでガラス。こことここはガラス。この柱から北ずっとまわっては壁です。スリットの縦長の今のところ窓というか明かり取りが縦長に入っています。ちょっと言い訳がましいんですけど、非常にガラス特殊なもので値段が高く付くので、当初の予定額より大幅に建設コストがかかっていますんで、出来るだけ質は落とさないように費用の削減を今一生懸命してる場所なので、出来るだけ中については機能を損なう恐れがあるので変更する予定はないんですけど、外観は今僕らが考えているのは外面から見て目を引いて感じの良い建物のイメージは損なわなくて、コスト削減する。そこを今一生懸命考えておるところです。

(座長)

ありがとうございました。ちなみにワークショップで外装はブラウンで決定をしています。

12月の委員会で、会議の進行上、もうあまりレイアウトは変えられませんよということで委員会でも話はしました。ただしその委員会の後、ワークショップも行っていろいろたくさんの人に見ていただいたら、ちょっと私らも眼鏡を外さないと見えなぐらいの字の意見がいっぱい出ました。でもそれを一つ一つ建設プロジェクト室の方で出来るかぎりの努力をしていただいて、事務局と相談をしながら反映をしていただいと私は判断をしています。皆さんもいろいろと思われることもあると思うのですが、ずっとこの設計の話で会議を進めていくわけにもいきませんし、そろそろ運営とかソフト面の話もしていけないといけませんので、いったんは今回のこの基本設計、この図面で基本設計を固めるということで委員会としてまとめたと思いますよろしいでしょうか。

(A委員)

一つだけ。ワークショップの時に中高生のテーブルであったんですけど、学習スペースがいいなあっていう。前の学習スペースの感じ。場所だとかは別にして、いいなって意見も出てたんで、すべてをオープンにした時に、そういう前のようなイメージが良いなって思ってた方に対してはどういうふうに応えられるのでしょうか。

(建設課長)

今、冒頭に説明した中央付近。そこが学習スペースで取ってますけど、フリールーム2部屋あります。そこもそんなにずっと利用があるわけじゃないので、そこも開放したらどうかなと思ってますし、図書館内部で勉強したいという方がいらっしゃるそういう人も多いかと思うので、壁際にずっとありますので、そこもけっこう一人席で良い雰囲気でのかなと思います。2階にもスペースがあります。角もその横もあるので、限定はせずに空きスペースを今後検討ですけど自由に使う方がいいのかなと思っております。

(座長)

確かに高校生の方の意見で、広いいろんな多種多様な学習スペースがあって、大きな紙を広げても勉強出来るし、個人でも出来るみたいな意見がありました。A委員の言われたことも十分理解をして、このフリールーム1、2の活用方法をしっかりと検討するなかで、意見を反映させていただきたいと思います。

それでは再度お伺いをします。この内容で基本設計を固めるということではよろしいですか。

はい、ありがとうございます。ではこの設計で建設プロジェクト室の方には次の段階に入っただけだと思っております。

<p>(建設課長)</p>	<p>工程的にもけっこう厳しい工程となっております。7年の春には確実に間に合わせて行きたいと思っております、基本設計と言いまして今お示したレイアウトは確定して、今度はコスト、費用を積算というんですけど、はじいていく格好とか、細部の色合いとかタイルとかそういった細かいところを詰めて入って行って、6月末には金額はじいて発注という運びにという予定にしておりますので、今ご了承いただけて大変ありがたく感じておりますので、更にもっと工夫が出来るところは細かいところでも検討していきながらやっていきたいと思っておりますので、またよろしくをお願いします。</p>
<p>(座長)</p>	<p>ありがとうございます。先ほどから言われている金銭的なこととか等で今度実施設計に入ってこられますけれど、おそらくその中で万が一大きな修正点とか変更がありましたら是非またこの委員会の中で報告をいただきますようによろしくお願いを申し上げます。</p>
<p>次第4</p>	<p>今後の検討内容・スケジュールについて</p>
<p>(座長)</p>	<p>今後の検討内容・スケジュールについての項目に入っていきます。</p> <p>委員会も6回目を迎えました。これまでは皆さまのプレゼンや、途中から設計と歩調を合わせながら進めてきたわけですが、レイアウトが固まり、それをどう運営するかというこの委員会本来の検討事項に入っていく時期にきたと考えています。</p> <p>第1回の委員会でも、この委員会の趣旨について説明がありましたが、いま一度この委員会の目的や何を検討していくのか、またどういうスケジュールで検討を進めていくのか、その確認が必要かと思えます。</p> <p>その辺りをこれまでの経験も踏まえて、蔦木副座長にまとめていただきましたので、説明をしていただきます。</p> <p>蔦木副座長、お願いします。</p>
<p>(蔦木副座長)</p>	<p>ここまでハード、少し設計について皆さんの意見なんかを入れていただいてここまでやってきたんですが、改めて今後は我々に課せられている役割というところで、施設の運営の方でこれから検討を進めていかなければいけないと。建設も令和7年4月に向けて取り組んでいただいているということで、運営検討の方もちょっとスピードを速めていかないといけないなというところにきていて、このまちづくり委員会と生涯学習課さんと事前に打ち合わせをさせていただいた上で、今後の検討内容とスケジュールというものを一緒にまとめてきました。今後の話し合いの流れについてお話してきたいと思えますのでよろしくをお願いします。</p> <p>改めて多可町生涯学習まちづくり委員会の目的と役割はなんだったんだっけということを改めて確認したいなと思っております。こちらの生涯学習まちづくり委員会の設置要綱の中に書かれている文面をそのまま載せています。目的は住民の自主的かつ主体的な町政への参画を図り、生涯学び続けられる生きがい溢れるまちづくりを推進するために、この生涯学習まちづくり委員会を設置しましたというふうに書いています。具体的にどういった役割があるかということで書かれているのが、以下の点について調査・研究・検討をして必要な意見及び提言を行ってくださいというふうに書かれています。それが何かというと、まず一つ目が生涯学習を通じたまちづくりの推進に関する事。2番目がまちづくりプラザの運営検討に関する事。</p>

3点目としてその他町長が必要と認める事ということで、大きくこの3点について皆で調査・研究・検討をしていただいて、必要な意見や提言をしてくださいねということが我々の役割になっています。

では、もう少し具体的に何を検討して何を提言したらいいのかということで少しぶんかいをしてみました。

まず1番目の生涯学習を通じたまちづくりの推進に関する事。これはどういうことなのかなということで生涯学習課さんにも改めて確認をさせてもらったんですが、1点目は既に多可町で行われている生涯学習活動の活性化につながるようなことをちょっと皆さんで検討していただきたいと。それに当たっては既に生涯学習推進協議会というものがあります。そこと連携をしながら進めていけたらいいなということで、生涯学習課さんからうかがっています。2つ目、ここがけっこう大事なかなと私個人的には思っているんですが、生涯学習のまちづくり、とても素敵な掲げていることだと思っているんですが、ただそれをやっていくには担う人材を育てていかなければいけないということで人材育成の検討が必要になってきます。このことは次のページで話す項目とも関連している内容です。続いて二つ目のまちづくりプラザの運営検討に関する事っていうのは具体的にどういったことなのかなということで、一つ目は運営とサービスを行っていくに当たって、やはり計画というものが重要になってくると思います。その運営・サービス計画の検討をしていく必要があるということで、具体的にはまちづくりプラザがどんな施設になっていったらいいのかということで目指す姿だったり、具体的にどんなサービスだったり事業に取り組んでいくかという取り組むことの整理が必要となります。ここで重要なポイントはこの施設が複合施設だということなので、図書館と連携した相乗効果が高まるような運営体制を検討していかなければいけないということがポイントとしてあります。続いて先ほどの人材育成にも関わるんですが、この施設を運営する人材の育成っていうものを考えていかなければいけないということになっています。皆さん改めてご存じだと思うんですが、この運営に関しては一つ謳っているものがあります。住民主体の運営ということを謳っています。とはいえ、住民の方がいきなりまちづくりプラザ運営は難しいと思いますので、運営組織を立ち上げていくための支援だったり、そういった人材を育てていくための検討が必要になってきます。3番目として、住民主体の運営体制。じゃあどういった運営をやっていったらいいのか。住民主体の運営と言ってもいろいろあります。運営サポーターみたいなライトなものもあれば、友の会というもの。もう少し運営主体になっていくのは業務委託だったり、更にもう少し自由な事業をやっていったら一つの手段として指定管理者制度みたいなものもあります。住民主体の運営体制はどこのレベルを目指していくのかっていうのもこのまちづくり委員会で検討していくことの一つだということになっています。

もう少し分解してみました。1-1の生涯学習活動の活性化というのは具体的に何だろうということなんですが、生涯学習まちづくりプラザの建設計画の中にすでに書かれている生涯学習のまちづくりの3つの広場というものを掲げられています。その実現に向けた具体的な施策を検討していく必要があります。1番目はまなびの広場、2番目が交流の広場、3番目は表現の広場ということで、こういう広場を実現するために具体的に何をしていく必要があるのかということの検討。更に生涯学習活動全般ですね。多可町内の生涯学習活動活性化のための事業の見直し、新たな仕組み作りということで、今多可町では第2次生涯学習推進基本計画という

ものが動いていて、それに基づいて今行政を中心に事業を行われていますが、その進捗の確認みたいなものだったり、既存事業の見直しだったり、新たな施策の検討というものが必要になってくると思います。これに関しては生涯学習推進協議会さんがあるので、そことの連携をしながら検討していく必要があります。続いて1-2の生涯学習まちづくりを担う人材の育成の検討については、この点に関してはすでに生涯学習推進基本計画の中で具体的に書かれていまして、生涯学習コーディネーターの設置を推進していきますよということで、学びの機会と学びたい住民のマッチングや場のセッティングを進めたり、地域で活動する個人やグループ等の出会いのコーディネイト、ネットワークづくりを行ったりするためのマンパワーとなる社会教育士などの人材の育成や配置を進めますということで、計画の中に盛り込まれているんですが、この部分をどういうふうに具体的に進めて行くかということを考える必要があるなど。その中で来年度の方針を生涯学習課さんの方でもいろいろ考えられていて、5年度から育成事業みたいなことを始めようと今計画を立てているということでした。社会教育士だったり生涯学習コーディネーターというものを育成していくための予算は今確保に向けて動かれているということでした。社会教育士っていうのは私自身やっていますが、けっこうこれからの学びを通じた地域づくりには必要となる専門人材になりますので、もしよかったら後でご案内しようかなと思っています。

続いて2番のまちづくりプラザの運営検討に関する事です。まず何から検討していけばいいかということなんですが、まず1番大事なのは生涯学習まちづくりプラザが目指す事とか、どんなことを実現していきたいかということのを改めて整理する必要があります。建設基本計画の中には、いちおうコンセプトと基本理念というものをまとめていらっしゃるんですけど、これは今いったんハードをつくるにあたってのコンセプトだったり基本理念ということになってくると思います。これ自体も素敵な言葉ではあるんですが、やはりこれをもう少し運営の視点に立って、町民の方にもうちょっと伝わるような柔らかい言葉でたぶんまとめていく必要があるのかなと私個人的には思っています。その上で運営とかサービス計画を検討するってじゃあ何かを具体的にするのということなんですが、これはよくあるやり方の一つなんですが、まずミッション・ビジョン・バリューを検討しようというような流れがあります。ミッションっていうのは一番大事なとこですね。この施設が何のために存在しているのか。ここはかなり普遍的なものです。これからずっと変わっていかないところです。この施設が出来たときに、この先にどういったものを目指していくのか、何のために存在していくのかがミッションになります。言い換えれば使命とか目的、役割、存在意義なんて呼ばれますがこういったもの。更にビジョン、これは目標です。ただ目標っていうのは期限を決めてたてるものなので、じゃあどういった期限でたてるのかというのが大事になります。例えば開館してからの最初の3年間どこを目指すのか、5年後はどこを目指すのか、10年後はどこを目指すのかということを決めるのがビジョンになってきます。じゃあバリューっていうのは言い換えると行動指針と呼ばれるものですが、こういったミッションやビジョンを実現するために運営する人がどういったことを大事にしてやっていくのかっていうことで、運営をするさいの価値観だったり判断基準になるようなもの。言い換えれば運営方針と呼ばれるようなもの。そういったものをまずまとめる必要があるなと思います。その上でこの3点が決まるとようやく具体的に何をやるっていうのが決められるというふうになると思

ます。言い換えると具体的な行動計画や実施計画みたいなものです。これはどういったスパンでもあるんですが、5年間とか、例えば今年1年はこういった事業をやっていきましようとかということがここに当たる部分だと思っています。まとめると複合施設としても多可町生涯学習まちづくりプラザは何の役割のために存在し、ミッションです。どんな町、町民の姿を実現することを目標にこれがビジョンになります。どんなんことを大切にどこに重点を置くのか、バリューです。それらを実現するために何に取り組むのか、行動計画、実施計画という形になります。

例えば参考までに県立長野図書館というところがありますが、こういった図書館でもやはり運営を開始される際には、新しく図書館をリニューアルされたところなんですが、こういったミッション・ビジョン・バリューっていう形でまとめて年度ごとの取り組み方針みたいなことで、ちゃんと言葉に落としてそこを運営する人達はちゃんとこれを踏まえた上で事業を行ったりとか日々の運営をするということをしている。続いて2のまちづくりプラザの運営検討に関する事のこと。2-2の運営を担う人材育成の検討ということなんですが、具体的には人材育成方針の検討や提案みたいな形で、プラザを運営するスタッフはどういう人材であつたらいいのか。図書館に関してはすでに担われている方いらっしゃいますが、ただここで複合施設になった時にどういったスキルが必要になってくるのかということを検討していく必要があるのと、やはり新しい施設の立ち上げっていうのは大変忙しかったり、準備しなきゃいけないもの大変たくさんあると私は思っているんですが、そういったことを開設の前から担っていただけるような準備室長。将来的な運営責任者、プラザ長のようなものになると思うんですが、そういった人を公募した方がいいんじゃないか、配置した方がいいんじゃないかということと検討と提案を行っていく。2-3住民主体の運営体制の検討。これは先ほどもちょっとお話しした住民主体の運営はどの範囲までお願いするのかっていうのを検討していくのと、例えば住民主体の運営を目指すにしても、オープンと同時にやってもらうのか、いやオープンしてから何年間まちが運営しながら伴走していくのか。そこ現実的にどういった姿がいいのかということをもとめていく必要があると思います。ここまでは運営検討だったり、まちづくりの施策に関してどういったことを検討しなければいけないのかということを整理しました。

ここからは、この検討にも期限があつていつまでに検討して提言するのかということを生涯学習課さんと話をした中でまとめてきましたので説明します。

まず生涯学習活動の活性化にかんしては、これは既存事業の見直しだったり新たな施策の提案になってくるということで、生涯学習推進協議会さんとの連携ということもあるので特に期限はないけれども随時やっていく必要があるんじゃないかなと思っています。1-2の生涯学習まちづくりを担う人材の育成の検討に関しては、最終的には人材育成方針のようなものをつくって示すような形になると思います。これに関してはやはり我々がまとめた提言というものがまちの方で事業化していくにあたっては予算をつくらなければいけないということでこれはけっこう期限がシビアなんだそうです。まずは令和6年度に事業化するのであれば、令和6年度はオープンの1年前です。なのでここはマストかなと思っているんですが、今年の8月頃までには少しまとめてもらえたらというふうに伺っています。なので目指すところは今年の8月頃までにこういった人材を育成する必要がありますよということを我々の意見としてまとめていく。続いて2-1の運営・サービス計画の検討に関して期限同じなんですけど、8月頃までにはミッション・ビジョン・バリ

ューまでは少しまとめて、これを元に運営の骨格のようなものをまちの方にお示しできたらなと思っています。最終的には令和6年3月までには具体的な実施計画・運営計画の提言をまとめていきたいと。続いて2-2の運営を担う人材育成の検討に関しましては、これは今年の8月までに人材育成方針のようなものを提案していく。住民主体の運営体制の検討についても、やはり準備期間っていうものが必要になってくるので、例えば準備室長のようなものを置いていただくのであればこれも夏頃までにはまとめて予算化というものを目指していく必要があるので、令和5年の8月頃までに。まとめると8月頃までが忙しいぞという感じになります。ちょっと多岐にわたっているんですが、8月頃までには一定の新しい施設の運営の骨格のようなものを我々委員会の方で検討できればなと思っています。

ただここまで聞いて、皆さんたくさん検討しなければいけないんだなと、大変だなと思われているかもしれないんですが、今後検討を少し効率的にとかスピードアップしていくためには、少しチーム制のようなものも導入していくのがいいんじゃないかなという話で今考えております。これは今日ちょっと皆さんとお話しできたらなと思うんですが、大きく2つに分けようかなと思っています。1つがここまで話してきた生涯学習事業だったり人材育成だったり運営検討について検討を進めていくチーム。2番目が今日のプレゼンの中では具体的に説明してなかったんですが、ただ来年度に向けて生涯学習課さんも予算をとられているということなんですけども、この生涯学習まちづくりプラザっていうのをもっと町民の方に知ってもらいたいと、知ってもらう必要もあるということで、広報だったりイベント企画の予算なんかも確保されているそうです。なのでイベントの開催だったり、今回ハード面では住民ワークショップやったんですが、やはりソフト面、運営面でも住民の皆さんの声を聞いていく必要もあると思います。そういったイベントの企画をしていくチーム。その2つに分かれてやっていくのがいいのかなと考えています。ただやはりそれぞれのチームの進捗具合も確認する必要があるので、時々こうやって全体で集まって中間報告を行った上で、委員会全体で方向性を確認しながらまた更に検討を進めていくとか、更にイベント企画をしていただくという流れを考えています。

最後は参考です。やはり人材育成を考えるにあたって、こういった人材とかどういったスキルが必要かとかなかなか考えるの難しいと思うんですが、1つの例として、今文科省でも力を入れているのが社会教育士というものがあります。これからつくる生涯学習まちづくりプラザの運営にあたって、多可町の生涯学習の推進にあたって必要となるスキルを身につけるとい意味では1つの参考になるのかなと思ひまして資料を載せさせてもらっています。資料を読んでいただければなと思います。

(座長)

ありがとうございます。質問は後で一括でお受けします。
事務局から補足説明がありましたらお願いします。

(事務局)

私どもが考えていること、あるいはこれから考えようとしていること、こちらの口から説明するという方もあったのかもしれませんが私の説明が下手なもので、薫木副座長といろいろとヒヤリングしていただいたりしながらまとめていただいたのが今日の資料でございます。

まさに今からこういう順番でこういう内容を検討していきたい、していただく必

要があるというところになりまして、細かく話し出すとまた深い話になっていきま
すけれども、ざくっと今からもう一度運営面というところに立ち返ってさっきの言
葉でいいますと、ミッション・ビジョン・バリューという言葉でまとめていただき
ましたけれども、その辺りを順番にご検討いただけないかなと思っております。ただ
先ほどスケジュール感の話もありましたけれども、ゆっくり時間をかけてコツコツ
と検討していただく方法もあるんですけども、もし令和7年4月のオープンにある
程度の形にする、あるいはそれより前に事業化するということになりますと、お役
所仕事ですけどもどうしても夏頃までに方針を出して予算要求して予算編成して、
2月3月には議会答申いただくというプロセスになってしまいますので、急かすよ
うな話になりますけども、やはり夏頃までにはある程度の方針といいますかを皆さ
んで検討いただきたいということになってまいりますので、そのあたりのスケジ
ュール感も踏まえた上でご協力いただけないかと思っております。

(座長)

ありがとうございます。

皆さんどうでしょう。つらつらと説明があつてなかなか整理が出来ない部分もあ
るかと思えます。けっきょくは今までの委員会は生涯学習まちづくりプラザの建設
設計、もちろんその中には図書館があつたり、いろんなこういう施設が欲しいです
よという話を中心です。ただ今後はその建物を利用して何をするのか。どんな運営
方法がいいのか、誰がするのかというところのコアな話になってきます。どうしても
なかなか難しい。お互いの個々の意見がぶつかる時が出てくると思えます。副座長
の方からの提案で、チーム制という提案もありました。それぞれが興味を持たれて
いる分野、得意分野があると思えますので、そのチームに分けて毎回毎回この委員
会で全員が集まって話をするというのも大変でしょうから、チームに分かれてお互
いそれを深めて意見を交換していくという体制で8月、そこまでハードなスケジ
ュールで動きたいということを検討をしています。

まず最初に皆さんで検討していただきたいのは、副座長の説明のあつたチーム制
というものに対してどのように思われるのかというのを1点、グループ内で意見交
換をしてください。それと今説明があつた進め方で問題がないのか。その2点を時
間をとりますのでグループの中で話を進めていただけたらと思えます。B委員はそ
のまま、葛木副座長はこちらに来てますのでそちらは山本副座長お願いします。
10分か15分程度時間をとりますのでお願いします。

－意見交換－

(座長)

私、2点質問をさせていただきました。まずは今さっき副座長がまとめられたい
わゆるコンセプトや基本理念を再考してミッション・ビジョン・バリューを決めて
いく。それにあつたサービス計画とか運営というものを判断していく。これは特別
生涯学習まちづくりプラザにこだわっているわけではないと思うんです。よくこう
いう複合施設とか何かつくりますよというときは、基本この流れです。本道といえ
ば本道なんですけど、この考え方で内容の決まり方は別ですけど、考え方としてこ
れで進めて行く事に何かご意見がある方は挙手をお願いします。

(座長)

ありがとうございます。特にないようですので・・・。

(A委員)	すいません。質問があります。
(座長)	<p>わかりました。はい。もう一度言います。鳶木副座長がまとめて今説明をさせていただいた、まちづくり今後運営を検討をする流れとして、こちらに書いてあるようないわゆる流れを順番に決めて行きながら最終的に町への提言書としてまとめるということです。特にこれに関してはミッションとかビジョンとかバリューとかいう言葉が出てくると、私ら世代はちょっとついていけなくなるところもあるんですが、だいたい複合施設とか施設とか何でも委員会でもそうですが、基本計画があつて理念があつたり、じゃあ運営はどうしましょうサービスはどうしましょう、じゃあそのサービスをするためにはどんな組織がいるんでしょう、それは何ヶ月前から準備したらいいんでしょうというのはよくあるパターンですから、じゃあこれですべてには意義はなしということで行きたいと思えます。</p> <p>2つ目、これを皆さん一緒に集めて委員会全体で進めて行くのに非常にご苦労なことも考えて、グループ分けという話がありました。このグループ分けに関して何かご意見のある方は挙手をお願いします。</p> <p>はい、A委員。</p>
(A委員)	そのグループ分けっていうのも必要だと有効な手段だと思います。効率的で、どこからそのグループ分けってやるんですかっていうところを聞きたいです。
(座長)	どこからというのは日付的なこと？タイム的な？
(A委員)	ではなくて、この順番をみるとまずはミッション・ビジョン・バリューの検討が必要となつてまして、そのミッション・ビジョン・バリューをこれチーム分けて検討するのでしょうか。
(〇〇委員)	その分け方についても皆さんと相談出来ればと思つてはいるんですが、いちおう想定しているのはミッション・ビジョン・バリューの検討に関してはそのチームをつくった人達を中心となつて決めて行くというような形で、けっこう項目が多いのでどれからやっていくかっていうのも多分最初チームをつくった時にどうやっていくってことをある程度この時には方針を改めて出す形になるかなとも思うんですが、まあどの順番でやっていこうと最初のチームが出来たときに話し合っていくような形になるかなと考えています。
(A委員)	私はチームを分けるにしても、ここの委員会の全体のミッション・ビジョン・バリューっていうのが共有されてないところを2つに分けてそれで進めようかという疑問を持っています。やっぱり最初はそれが時間的な制約でどこまで共有できるかっていうのはあるとは思いますが、ミッション・ビジョン・バリューここから始めようと言ってる限りやっぱりこれは共有しておかないと、検討しておいてまた元に戻つてこうじゃないって検討するようではちょっと前に進んでいるように進んでないようなことになりかねないんじゃないかなと。だから全体でミッション・ビジョン・バリューのところはやっぱり共有をしておくべきではないかと私は思います。

(座長)	<p>今の意見でいくと、いわゆるまちづくりプラザの運営検討に関すること、運営サービス計画の検討、ミッション・ビジョン・バリュー、ここの部分までは皆さんでしましょうと。ここの後に班分けをしてももちろんミッション・ビジョン・バリューでの些細な点であるとか、行動計画・実施計画もあるでしょう。いつまでもまちプラという仮の名前ですよ？</p> <p>この名前だって公募をするのかどうか検討もいるでしょう。そういったところをチーム分けで、片一方のチームはミッション・ビジョン・バリューが決まったのち広報・イベント・企画に分けるといような話ですよ？ A委員。</p>
(A委員)	はい、そうです。
(蔦木副座長)	<p>それを検討するにあたって今日情報として1つ出せてないのが、イベントPRの部分を生涯学習課さんの方でも予算をとられていて、いくつかのイベントというかPRイベントを開催したいと考えているので、そのへんのスケジュール感ってもうちょっと事務局さんありますか？それもちょうと踏まえて同時並行で考えていただきたいのも出てくるかなと思うんですけど。</p>
(事務局)	<p>まだ令和5年度予算審議をいただいているところですので、まだ確定ではないという前提でなんですけれども、来年度こういうPRですとかイベント的なことはやりたいなということで予算の方は要求をさせていただいています。正直、中身は具体的なことはまだ決まっておりません。この委員会でご審議いただきながら歩調を合わせてということで考えております。いわゆるシンポジウムですとかワークショップですとかそういうところで講師先生呼んできてとかいうことも出来る程度の費用なり、あるいは今どきですから先ほども話をしましたように、そういう先生呼んできてとかではなく住民参加型でやれるよということ、消耗品ですとかそういうことも予算化を要望しているところがございます。それで出来るだけ早い段階からまた住民の方をご参加いただいたり、巻き込んだりしながらPR進めていきたいということで予算の方をしております。</p>
(蔦木副座長)	<p>特にいつ頃したいってことは思ったりはするんですか。回数とかそういうのはあるんですか。</p>
(事務局)	<p>回数的には年間2回ないし3回。イベントの程度にも大きさにもよると思いますけども、何回かしながらということで考えております。</p>
(座長)	<p>ありがとうございます。 他にご意見ありましたら。</p>
(B委員)	<p>提案の趣旨もよくわかりますし、A委員が言われましたそれぞれの共通理解がいるということとはとても大事だなと共感しています。</p> <p>私のグループで意見出ましたのは、その後の検討チームに入って5ヶ月間でチーム制で検討するということなんですけれども、5ヶ月かければかなり深まって検討できると思うんですけども、個人としては両方のチームについて検討課題については片方しか考えていないわけで、途中で中間報告もあってその場で意見を言えるか</p>

もわからないんですけど、両方の課題についても検討したいと。だから半分の期間でチームも入れ替えてお互いの意見を考えるというか、両方の意見を聞きたいというかそういう意見も出ていました。

(座長)

ありがとうございます。

ちょっとこれは座長提案になるかもしれませんが、方向性というか委員会の流れは葛木副座長のつくられているその流れで行きたいと思います。ただし、A委員やB委員の話の聞くと、グループ分けというかそれは取りやめにして全員で共にすべての課題に対して話を進めていくと。もちろん8月、8月と言ってますけど、日にちを決めて、適当に答申をつくるわけにはいきませんのでよりいい答申をつくるために日にちが延びることは全然かまわないと思ってますので、そのために皆さんで意見をたたき合わせるというところを踏まえて、グループ分けはなしというところで皆さん一体となって、ちょっとお集まりいただく回数も増えるかもしれませんが、進めて行くというところでどうでしょう。

(葛木副座長)

ちょっと1点だけ。今日来られてない方もいらっしゃるんですけど、皆さんの負担感みたいところもなるべく減らしていきたいというところもあるんですが、今日もいろいろとご予定もあると思うんですが、参加できない方もいらっしゃると思うと、なるべくこう回数が増えると大変になるのかなというのも思いつつ、そのへん逆にチーム制もいいかなと思う方いればご意見もあればいいなと思ったんですが、例えば両方とも意見言いたいということは、もちろん両方に共通してもらうこともいいかなと思ってますが、なるべくここに関わりたいという方は参加してほしいし、なかなか関わりたいけど時間が取れないんだという方はどちらか1つでもいいから出てもらえればなという形で、皆さんにとって負担とならないかもう一度ちょっと検討したいなと思ってます。

(座長)

会議としてはきっちり分ける形も出来るので、負担のないようにします。ただチーム分けは基本的にはせずに皆さんで共に進んでいきましょう。

私が言うのはあれですが、ちょっと会議の間があいたからなのか欠席者が多いのは非常に残念です。もちろん皆さん用事もあつたりします。ですのでちょっと事務局の方からもそこらへん考慮・配慮を十分していただいて、今からハードな面のたたき合わせの部分もあるので、ご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。

(B委員)

すいません。個人的な意見かもわからないんですけど、課題とか考えるときにいつもこの場でぶっつけ本番的に瞬間的に皆意見を言っていると思うんです。そうじゃなくて、前もって課題を共通理解しておいて家で考えてきて、それをこの場で持ちよって行くという方法にしたらもう少し効率的といひますか多くのことがより協議出来るんじゃないかなと思うんですけど。

(座長)

ありがとうございます。

これは私も反省があつて、今回にしても資料がメールで届いたのが昨日だったと思うんです。ちょっとバタバタとしてしまひまして非常に反省をしております。今後はきつちりと、早くお手元に届くのと、こういった内容でこういった会議の話をするよと、こういったご意見を求めますよというところまで落とし込みをして、

	<p>皆さんに配布をさせていただきたいと思います。今後改めて訂正をさせていただきます。よろしくお願いします。</p> <p>(A委員) 全体の取り組み方として葛木副座長がまとめてくれているし、いいと思うんです。チーム制をとらないということではなくて、どこかで多分ミッション・ビジョン・バリュー決めて、その次それに基づいて行動計画・実施計画をつくる段階で一番良い組織をつくれればいいので、その段階でチーム制はありうることだと思いますし、チームといわず何か良い方法で行けばいいと思います。たぶん座長もそういうふうに思われていると思うので。</p> <p>(座長) ちょっと歩みを進めながらというところで、ちょっとご理解をいただけたらと思います。 事務局の方から連絡報告としてあると聞いていますので。</p> <p>(事務局) 事務連絡としまして、広報たかの関係です。5月号の広報にてこのまちづくりプラザなりまちづくり委員会の特集ということで何ページがさいて出していただくということで今調整をしております。今日会議の前に委員さん方何人か写真を撮らせていただいたり、広報担当の方がさせていただきましたので、その写真を使わせていただいて広報していくと。またプラザの方も委員会の方も積極的にPRしていくと、取り組んでいきたいと思います。また原稿があがってきたりしましたら確認をお願いしますというようなこともさせていただくと思いますので、またその節はご協力のほどお願いいたします。</p> <p>(座長) ありがとうございます。 今後、この委員会の進め方等私の方で十分配慮しながら注意しながらさせていただくという点と、次の会議からはソフト的な会議になりますよという点です。 もう1点は、A委員の言われた、ある程度流れを見ながらチーム制ときっちりとした区切りじゃなしに、得意な方が得意分野で力を発揮していただくという部分で考慮したいと思います。 それでは、今回の委員会はここまでとさせていただきます。</p>
<p>次第5</p> <p>(座長)</p> <p>(葛木副座長)</p>	<p>閉会</p> <p>葛木副座長から閉会の言葉をお願いします。</p> <p>いろいろ今後について私なりにまとめさせていただきました。けっこう検討しなければいけないこともたくさんあったりとか、先ほども皆さんが話しているのが聞こえてきたんですが、やはり私たちが考えられることなのかとかいろいろあると思います。そういったところで何か足りないとか、専門的な知識が必要であればそれも含めて、もちろんまちの方に相談させてもらって、そういった方のアドバイザー必要だよねとか、我々が勉強する機会が必要だよねっていうのはもちろんつくってあげたいと思っています。そうやって我々も生涯学習しながら生涯学習まちづくりプラザというものをより良いものとなっていくものとして、一緒に検討していければいいなと思っていますので、引き続き次回からは運営について具体的な検討に入</p>

っていきますが、また皆さんにもご参加いただいで一緒に楽しく検討していけたらいいと思っていますので、今日もお疲れ様でした。次回もよろしくお願ひします。
--
